

学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	中嶋 香奈子 【ライフサイエンス専攻 平成24年度生】	<p>高齢者の転倒事故は生活の質を低下させ、社会保障費の増加につながることから転倒防止は世界各国で喫緊の課題であり効果的な転倒予防対策が求められる。本論文では、多数の高齢者が生活する地域コミュニティや保健施設等で活用可能な歩行機能評価システムを構築するとともに、現場において実証実験を行うことを目的とした。具体的には先行研究により開発された足圧計測デバイスを改良した上で、歩行特徴の抽出を目的に、健常者ならびに高齢者98名を対象とした横断的研究を行った。その結果、転倒歴のある虚弱高齢者の歩行特徴を抽出する事が可能であった。さらに、埼玉県志木市の高齢者事業において、同一対象者を追跡調査する介入研究を実施し、高齢者の身体機能の変化を定量的に観察した。その結果、1年間の調査を通じて、対象者の歩行機能の経時的変化、ならびに、フットケアの介入効果を評価することが可能であった。本研究の成果は、高齢社会に入った我が国において、介護予防対策のための有益な知見と考える。</p> <p>平成27年1月7日から2月27日までに5回にわたって開かれた審査委員会及び最終試験では、提出論文の内容が本学大学院博士論文として十分な基準を満たしているか否か、また、申請者が十分な学力を有しているか否かを審査した。第4回審査会では申請者による口頭発表および質疑応答を行ったが、それらに的確に回答した。また、公開発表会における質疑に対する応答もふさわしいものであった。本論文の成果の一部はすでに国際学術誌に掲載されている (Technology and Health Care, 2014)。以上から、本審査委員会では、全員一致で、本論文が本学大学院人間文化創成科学研究科の学位、博士(理学)、Ph.D. in Biomedical Engineering に相応しいと判断した。</p>
論文題目	足圧計測デバイスを用いた高齢者の歩行機能評価	
審査委員	(主査) 教授 太田 裕治	
	教授 仲西 正	
	教授 大瀧 雅寛	
	准教授 元岡 展久	
	准教授 水村 真由美	
インターネット公表	特任准教授 Tripette Julien	
	○ 学位論文の全文公表の可否 (否) ○ 「否」の場合の理由 ア. 当該論文に立体形状による表現を含む イ. 著作権や個人情報に係る制約がある ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている (エ). 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている ※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について	

